

第61回中部日本都市対抗軟式野球大会実施要項

1. 主催 公益財団法人全日本軟式野球連盟・中日新聞社
2. 主管 全日本軟式野球連盟愛知県支部（愛知県軟式野球連盟・愛知県軟式野球連盟名古屋連合会）
3. 後援 愛知県・愛知県教育委員会・（公財）愛知県体育協会・名古屋市・名古屋市教育委員会・（公財）名古屋市教育スポーツ協会
4. 会期 平成28年11月11日（金）～11月14日（月） 4日間
5. 会場 (A) パロマ瑞穂野球場 (B) 熱田神宮公園野球場
6. 出場チーム 出場チームは、都市代表チームであり、次の地区から1チームと前年度優勝チームの計13チームであること。
(1) 前年度優勝チーム (2) 岐阜県代表 (3) 三重県代表 (4) 静岡県代表 (5) 長野県代表 (6) 新潟県代表
(7) 富山県代表 (8) 石川県代表 (9) 福井県代表 (10) 滋賀県代表 (11) 愛知県東部代表 (12) 愛知県西部代表
(13) 開催都市代表
7. 出場資格 本大会に出場するチームは下記による。
(1) 公益財団法人全日本軟式野球連盟に登録されたチームであること。
(2) 公益財団法人全日本軟式野球連盟規程第6条第2項の一般チームであること。
(3) 代表する県の軟式野球連盟に登録された選手であること。
(4) 1チームのメンバーは監督を含めて10名以上20名以内であること。
8. 適用規則 2016年度公認野球規則及び別に定める特別規則を適用する。
9. 大会規律 不正出場、その他規律違反に対しては、公益財団法人全日本軟式野球連盟規程細則により処理する。
10. 使用球 公益財団法人全日本軟式野球連盟公認球（A号）を使用する。
11. 参加申込 出場資格を得たチームは、公益財団法人全日本軟式野球連盟HPより参加申込書をダウンロードして、申込書を正確に作成し、所属県支部へ平成28年10月7日（金）までに提出すること。
各支部は提出された参加申込書を平成28年10月7日までにE-Mailにて公益財団法人全日本軟式野球連盟へ送付すること。
① 出場チームは別紙「参加申込書作成について」を参照のこと。
② 大会参加申込書は、そのまま写真製版でプログラムに掲載するのでパソコン（エクセル）で正確に入力すること。
③ 守備位置の欄は、監督・主将・投手・捕手・内野手・外野手の順に背番号の若い方から作成すること。
④ 組合せ抽選、プログラム作成、宿舍割当等の関係上申込期日を厳守のこと。
12. 組合せ抽選 抽選は、愛知県軟式野球連盟役員立会いの上、下記により代理抽選を行う。
(1) 日 時 平成28年10月11日（火） 14時00分
(2) 会 場 中日新聞社 名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
13. 監督会議 下記により監督会議を行うので、出場チームの監督・主将は、必ずユニフォームを着用し「2016年度版競技者必携」及び「2016年度公認野球規則」を持参の上出席すること。出席しない場合は原則として棄権とみなす。
(1) 日 時 平成28年11月11日（金） 15時00分
(2) 会 場 パロマ瑞穂野球場 会議室（名古屋市瑞穂区豊岡通3-28 TEL052-836-8216）
14. 開 会 式
(1) 日 時 平成28年11月11日（金） 16時00分
(2) 会 場 パロマ瑞穂野球場
※開会式には、参加届けに記載されている全選手の参加が望ましいが、勤務の都合等で参加できなくても試合には出場できる。ただし、10名以上でなければならない。
15. 表 彰 第1位 表彰状・優勝旗（持ち回り）・優勝盾・優勝メダル・賞品
第2位 表彰状・準優勝旗（持ち回り）・準優勝盾・準優勝メダル・賞品
16. 参加記念品 参加したチームに対し、記念品を贈る。
17. 参加料 1チーム30,000円（監督会議の際に納入のこと。）
18. 宿泊の斡旋 宿泊は大会実行委員会において割り当てし通知する。
(1) 出場チームは、所定の申込書に斡旋の要否を記入し、下記の大会実行委員会に申し込むこと。
(2) 宿泊申込締切後の宿泊を取り消した場合は、当該チームにおいて違約の責任を負うものとする。
(3) 宿泊料は1泊2食付10,000円以内（税金・サービス料別途）に協定する。
19. 旅費宿泊 本大会に参加するための旅費・宿泊費は、全てチーム負担とする。
20. そ の 他
(1) 本大会の優勝旗は前年度優勝チーム（支部）が責任を持って必ず持参すること。
(2) 出場チームは「各県の中部日本都市対抗大会の優勝旗」を持参すること。
(3) 木製バット以外は、公益財団法人全日本軟式野球連盟公認バットであること。
(4) 捕手は公認マスク、レガース、ヘルメット、プロテクターを着用すること。
(5) 試合に出場する捕手、およびブルペンの捕手は、ファウルカップを装着すること。
(6) 打者・走者・次打者及びベースコーチは、競技者必携に記載のヘルメットを着用すること。
(7) 参加選手は健康保険証又は共済組合員証、その他これに準ずるものを必ず持参すること。
(8) 得点差によるコールドゲームを採用する。（7回以降7点差）
(9) 延長戦(タイブレーク制)を採用する。
9回を完了して、同点の場合は、健康維持を考慮し、次の方法により勝敗を決定する。
(1) 延長戦の回数は、最長12回までとする。
(2) 試合開始後、2時間30分を経過した場合は、新しいイニングに入らない。
(3) 前記、「(1)」、「(2)」を終了しても同点のときは、引き続き特別延長戦を行う。
(10) 本大会をドーピング検査対象大会とし、検査は日本ドーピング防止規定及び関連規則に基づき実施する。
(11) 試合中の負傷については、応急処置は行うが以後の責任は負わない。
(12) 本大会についての問い合わせ先